



まほろばの丘から



令和4年6月1日 文責 校長 江口 尋信

「太西リンピック」を終えて

5月28日（土）に「太西リンピック」（運動会）を開催しました。運動場に子どもたちが全学年揃ったのは3年ぶりということになります。新型コロナウイルス感染症の拡大と熱中症が心配でしたが、どうにか無事にやり終えることができました。

さて、今年の運動会では、昨年度までと大きくやり方を変えたことがあります。それは、可能な限り子どもたちの活躍の場（出番）を増やし、職員は一步下がるということです。

開会式での校長からの話はカットして、開式の言葉や児童代表の挨拶をメインにしました。また、4年生以上の入・退場は教師ではなく、子どもが号令をかけるようにしました。結果として、子どもたちは素晴らしい挨拶をしてくれましたし、号令の声は堂々としていて、運動会を一層引き締まった雰囲気にしてくれました。改めて、子どもたちのもっている可能性に気付かされました。わたしは、31日（火）の給食時間に、校内放送で子どもたちを大いに褒めました。子どもたちによる、子どもたちのための学校行事。そんな学校行事を少しずつ増やしていきたいなと強く思いました。



左)選手宣誓をする応援団長



右)入退場の号令をかける4年生

ありがとうございます！！感謝、感謝です

5月17日（火）愛校作業がありました。平日のお忙しい時間帯にもかかわらず、56名もの方々にご協力をいただきました。感激したことは、その日に代休だった中学生4名が愛校作業に参加してくれたことです。大変嬉しかったので、そのことを太宰府西中学校の校長先生にお伝えしました。

また、「太西リンピック」後にテントの後片付けのご協力を呼びかけたところ、多くの方々が残ってくださいました。感謝、感謝です！！さらに、この時も愛校作業時と同様、多くの中学生が後片付けに駆けつけてくれました。長いこと教師をしています、小学校をこれほど助けてくれる中学生を知りません。本当に感謝、感謝、感謝です。上)テントを片付けている保護者の皆さん 下)運動会の後片付けに駆けつけてくれた中学生



<運動会後にいただいたお手紙> ※素敵なお手紙、ありがとうございます。

いつもお世話になっています。運動会での出来事をお伝えたくお手紙を書きます。片付けの時、みどり組の男の子が、ロープを張っていたくいを抜くのに、荷物を持つお手伝いをしてくれました。また、その時、くいが抜けずどうしたものかと思ったら、団長をしていた子が「どうしました？やらせてください。」と、くいを抜いてくれました。さすが、団長だと思いました。こんな子たちがたくさんいるから、(私の子どもに)友だちがたくさんできるんだと、ふと思いました。よかったら、団長の子に「ありがとう」と伝えてください。